



仙台防災未来フォーラム2026

「災害レジリエンス共創に向けたデジタル・トランスフォーメーション」

人と人をつなぐ、新しいデジタルの使い方

-個別避難計画に役立つアプリのご紹介



2026年3月14日

防災科学リビングラボ

富士通株式会社 パブリックコンサルティング事業部

シニアディレクター 橋本 尚志

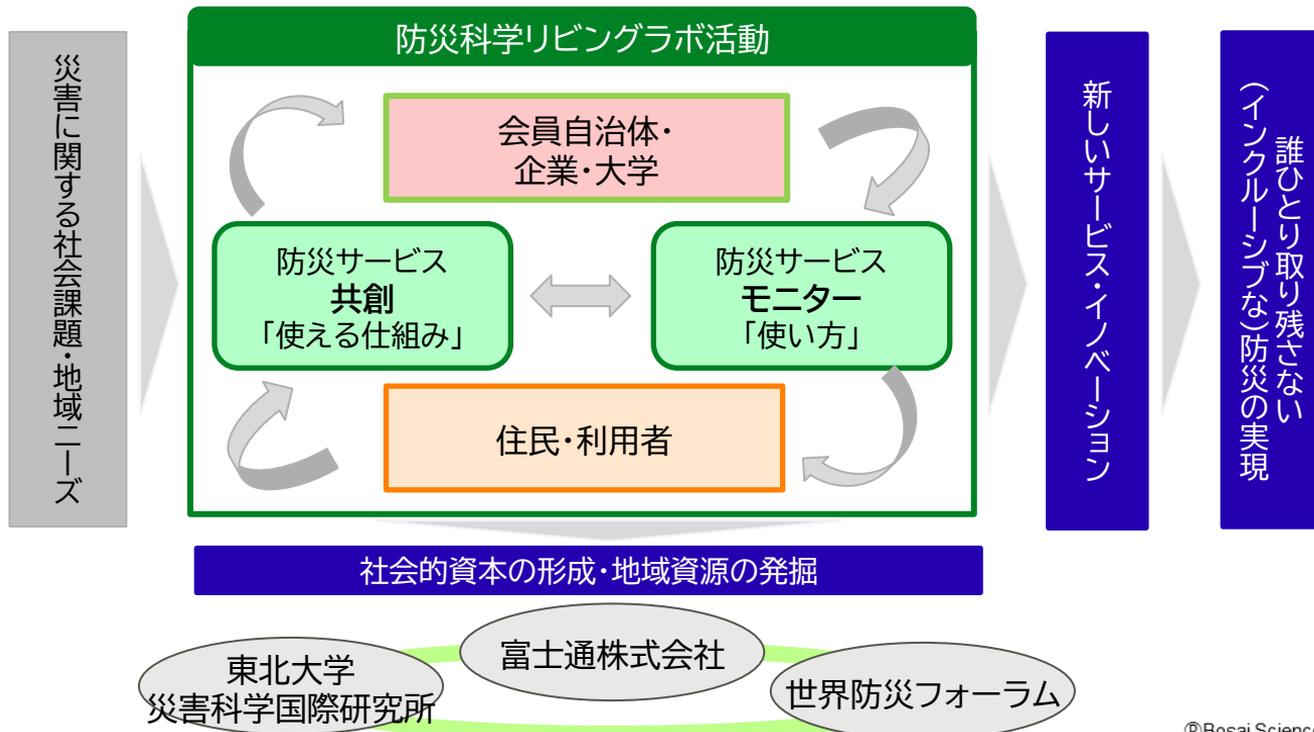
本日、お話ししたいこと



- わたしたちについて
- わたしたちの活動について
- アプリのご紹介

わたしたちについて 防災科学リビングラボ

防災科学リビングラボは、実際の暮らしや地域の中で、防災科学に基づいた社会実験を重ねる活動です。「使える仕組み」と「使い方」の両輪により、災害に関する社会課題・地域ニーズの解決策を共創することを目的とします。



社会課題・地域ニーズの解決策の共創

防災科学と社会実装の幅広い知見と豊富な実績を持つ専門家が社会課題・地域ニーズの解決策の共創を
ご一緒いたします。

プロジェクト開発とイノベーション創出のための各種メソッドやツールをご提供

ターゲット
設定

イシュー探索

テーマ設定

プロト
タイピング

フィールド/
ユーザー検証

サービス提供

社会実装・サービス化を加速

支援

防災科学リビングラボ事務局 プロジェクト支援チーム
(防災科学・社会実装の専門家)

まちづくり会や大学、企業等、幅広い分野での共創

片平地区まちづくり会や盛岡市市民活動センター、白山市町内会、五城目町オフィス、大阪工業大学など、さまざまな立場のみなさんと幅広い分野で、共創に取り組ませていただいています。



伝達情報を活用したリアルタイム行動アプリ Shelping [シエルピング]

システム概要
スマートフォンで、災害発生時、避難、救助、支援、物資の提供、情報収集などのリアルタイム行動をサポートするアプリ。

特徴
・災害発生時に、リアルタイムに避難場所、避難経路、避難物資の提供場所などをリアルタイムに提供。
・避難経路、避難物資の提供場所などをリアルタイムに提供。
・避難経路、避難物資の提供場所などをリアルタイムに提供。

具体的な機能
・リアルタイムに避難場所、避難経路、避難物資の提供場所などを提供。
・リアルタイムに避難場所、避難経路、避難物資の提供場所などを提供。

アプリの利点
・リアルタイムに避難場所、避難経路、避難物資の提供場所などを提供。
・リアルタイムに避難場所、避難経路、避難物資の提供場所などを提供。

今後の展開
・リアルタイムに避難場所、避難経路、避難物資の提供場所などを提供。
・リアルタイムに避難場所、避難経路、避難物資の提供場所などを提供。

人と人を橋渡しするアプリ

開発と目的
Lanepope (Lanepope) は、災害発生時に、被災者同士、支援者同士、被災者と支援者同士を橋渡しするためのアプリです。

効果
・被災者同士、支援者同士、被災者と支援者同士を橋渡しするためのアプリです。
・被災者同士、支援者同士、被災者と支援者同士を橋渡しするためのアプリです。

《アプリの使い方》
STEP1: アプリをダウンロード
STEP2: アプリを起動
STEP3: 検索・マッチング
STEP4: 連絡・マッチング

システム構成
・ユーザー
・サーバー
・データベース

平時で「防災」を学ぶ Figure

災害時に役立つ防災知識を見つける

Figure とは?
Figure は、防災に関する知識を学ぶためのアプリです。

特徴
・防災に関する知識を学ぶためのアプリです。
・防災に関する知識を学ぶためのアプリです。

システム構成
・ユーザー
・サーバー
・データベース

日常からスマートフォンを活用して
**災害時に備えるための
デジタルワークショップ**

スマートフォンを使って、自分の防災リスクと
災害時の行動計画を持って、防災に備えよう！

ご参加ください

- 日時: 2024年9/29(日) 13:30~15:00(予定)
※13時開場、アプリ体験や防災に関するミニ講座を実施予定です。定員は先着順です。
- 場所: 東北大学片平北門会館 社会連携スペース「エスバス」
〒981-8585 宮城県仙台市青葉区片平1-8
※雨天時は、東北大学片平南門会館 社会連携スペース「エスバス」にて実施予定です。

最新鋭なスマートフォンの最新機能を駆使した
スマートフォン機能で Android / iPhone / Windows
機能の活用や、防災に関するミニ講座を実施予定です。アプリ体験や防災に関するミニ講座を実施予定です。

主催: 株式会社富士通研究所 / 共催: 東北大学防災科学技術研究所
東北大学防災科学技術研究所 社会連携推進センター

最新のわたしたちの活動について

わたしたちが大切にしたいこと

① 「災害」から「身近な人」から守る

「災害」から「身近な人」から守る

② 「デジタル」×「使う人」のフェーズフリー

「デジタル」×「使う人」のフェーズフリー

③ 「専門家」がご近所にいる「安心」

「専門家」がご近所にいる「安心」

わたしたちがお手伝いできること

いる場所の災害の危険、
身近な人に必要な避難行動を知っておく

日ごろから便利に使っておく

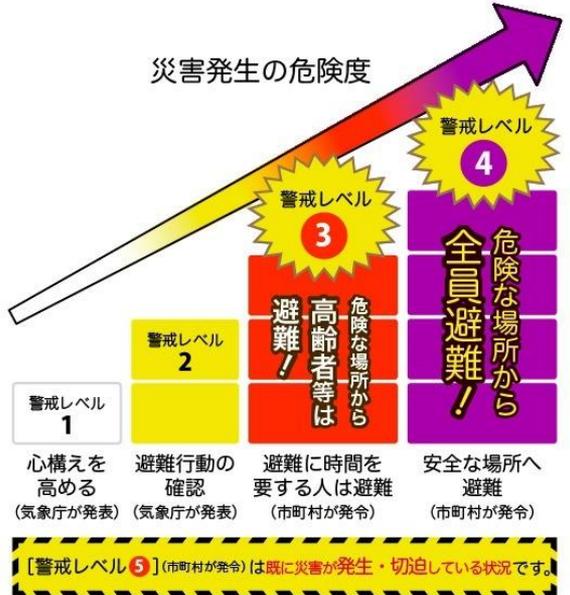
デジタル防災の専門家を増やす

①「災害」から「身近な人」を守る

いる場所の「災害の危険」と身近な人の「必要な避難行動」を知っておくことが重要です。



土砂災害リスク
特別警戒区域
警戒区域



出典：政府広報オンライン

②「デジタル」×「使う人」のフェーズフリー

フェーズフリー

「日常時」と「非常時」という2つのフェーズをフリーにする(なくす)という考え方です。



スマホやアプリを日頃から使っていないと、いざという時に使えない。



非常時 に役立つスマホやアプリを

平常時 から活用しておくことで、

非常時 でも使えるように備えておくことが大切です。

日ごろからスマホやアプリを使っておく

- 1 日ごろから、スマホを使いこなす
- 2 災害時を想定して、アプリに慣れておく
- 3 実際の災害時に、スマホ・アプリを無理なく使う



③「専門家」がご近所にいる「安心」

マンションや町内会、勤め先等、防災に役立つスマホとアプリの専門家「デジタル防災インストラクター」が身近にいる「安心」を目指します。

身近な専門家



認定デジタル防災
インストラクター

1 回覧板や連絡網で
スマホに
「慣れてもらう」



フェーズ・フリー

2 災害時に必要な
避難意思決定や行動に
「日頃からそなえてもらう」



避難意志決定・避難行動の準備

3 災害時、支援が必要な方と
支援者との
「情報共有を図る」



コア・アラートの活用

4 平常時から、災害時に向けて、
「必要な役割分担・ルールを
そなえる」



役割分担、ルールの作成

個別避難計画に役立つ アプリのご紹介



- ここアラート



ここアラートの開発背景

東北大学 災害科学国際研究所と株式会社富士通総研(現:富士通)の共同研究。
国の科学研究費の採択をいただき実施

- ミッション:災害による死者をゼロにする
- 誰一人取り残さないために
目指すもの(ビジョン) :インクルーシブ防災の実現

For 'No one will be left behind'

ここアラートに登録した場所について、ピンポイントでリスクを知る

➡ 自助のデジタル変革(自助DX)

ここアラート



- 災害リスクを「正しく知る」
- 日頃から、適切な避難先や避難行動を「前もって知っておく」
- 災害時に、どのような避難意思決定や行動が必要なのか「日頃からそなえておく」

①いる場所の危険、②避難行動を知る

災害時の危険の把握や、行動計画を確認できます。

①危険を知る機能

お住まいや学校・職場等、
いる場所の災害リスクを知る

住居や避難における危険の判定機能

1. 水害による家屋倒壊の恐れ
2. 浸水の恐れ
3. 土砂災害の恐れ
4. 避難場所の確認状況
5. 避難支援の配慮が必要な家族の有無



②行動計画機能

災害時にどんな避難が必要か
行動計画を知る

避難タイミングや避難先の確認機能

- ・避難する災害警戒レベル
- ・登録した避難先と移動時間

行動計画の確認機能

- ・警戒レベルに応じた避難行動
- ・家族や地域でとる避難行動

避難意思決定・意思表示機能

- ・避難の意思や、避難状況を知



③ 回覧板による日ごろの交流、災害時の安否確認

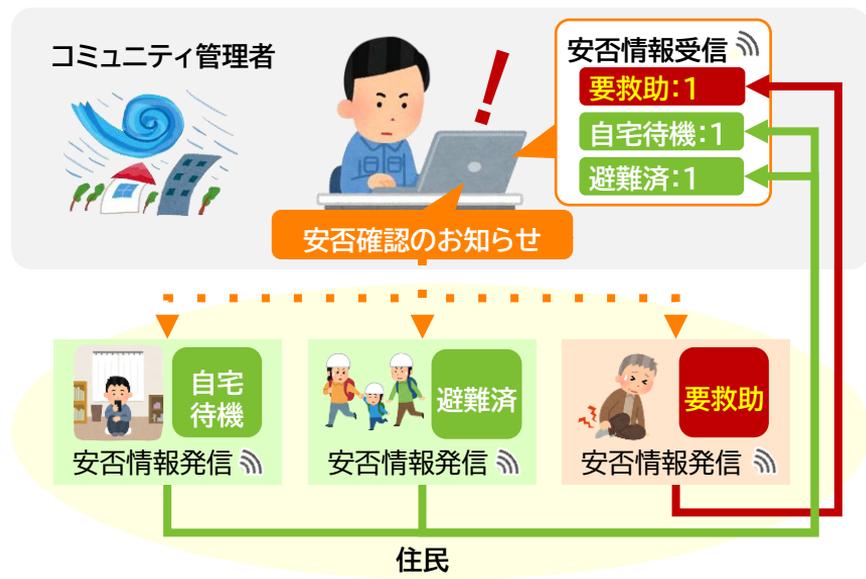
平常時

- 地域コミュニティ内で、お知らせ等の情報を共有し、交流できます。



災害時

- 災害が起こった時に、メンバーの安否確認ができます。



①いる場所の危険を知る機能

危険を知る

家屋倒壊のおそれ **注意**
登録されているリスク情報がなく判定
できません。
万が一に備え、避難先の検討と情報収集
をお願いします。

浸水のおそれ **注意**
登録されているリスク情報がなく判定
できません。
万が一に備え、避難先の検討と情報収集
をお願いします。

土砂災害のおそれ **注意**
地点登録されている情報がなく判定
できません。
万が一に備え、避難先の検討と適切な
情報収集をお願いします。

がでして

避難場所の確認
避難場所の事前確認ができています。
災害発生時は登録済の避難場所へ避難
するために行動計画を確認しましょう。

家族への配慮
避難の手伝いが必要な家族はいません。
災害時は災害状況を確認して、早めの避難
を心掛けてください。

ホーム

危険を知る

行動計画

回覧板

5つの被災リスク

■被災リスクの観点

- ① 水害による家屋倒壊の恐れ
- ② 浸水の恐れ
- ③ 土砂災害の恐れ
- ④ 避難場所の確認状況
- ⑤ 避難支援が必要な家族への配慮の有無

②避難行動を知る機能



避難する警戒レベルや
避難先・避難移動時間が
確認できます。

確認する項目

■ 行動計画における確認内容

- ① 大雨・台風時の避難タイミングの警戒レベル
- ② 避難先と移動手段・時間
- ③ 警戒レベルに応じた避難行動内容
 - ・私と家族でとる行動
 - ・地域でとる行動

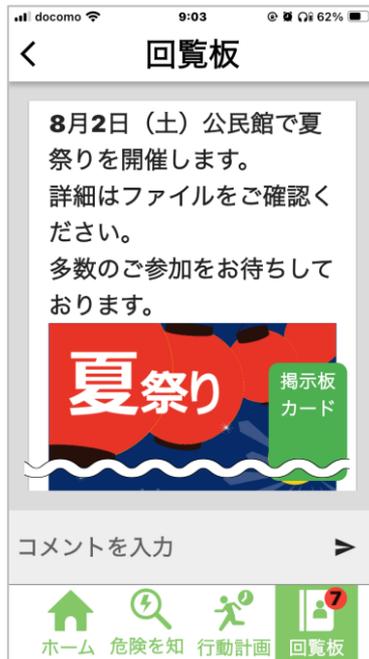
③ 回覧板機能

通知



回覧板のアイコンに新着が赤丸で表示されます。
確認したいお知らせをタップします。

表示



文章と添付ファイルの内容が表示されます

安心して暮らせる町、地域に



情報共有のスピードアップ

従来の紙の回覧板では数日～1週間かかっていた情報共有が、スマホアプリでは即時に完了します。緊急の連絡も瞬時に全員に届きます。



日常のつながりを深める

イベント案内や地域の問題を気軽に共有することで、住民同士のコミュニケーションが活性化します。



災害時の命を守る連絡手段

地震や台風などの災害時に、避難所情報や安否確認などの重要情報をリアルタイムで共有できます

社会的孤立
の防止

一人暮らし
急病時の支え

相互理解の
きっかけ



興味をお持ちいただけましたら、
わたしたちのホームページやブースへお立ちよりください。

防災科学リビングラボ
ホームページ

Thank you



お問い合わせ : lab@worldbosaiforum.com

